

応用生態工学会 2015 年度国際シンポジウム 流域・沿岸におけるグリーンインフラの概念と方法論 ～ 応用生態工学の今後の展開を考える ～

【開催趣旨】

自然環境管理では生態系の保全や再生が重要ですが、一方で自然生態系を上手く組み込み、その自然のプロセスを活かしてインフラとしての機能を持たせるグリーンインフラという考え方が提唱されています。工学と生態学の学際領域で展開しつつある応用生態工学は、このグリーンインフラの考え方と親和性が高いため、本分野ではグリーンインフラをキーワードとする新たな発展が期待できます。そこで、本学会では“グリーンインフラの概念と方法論”を整理した上で、河川ネットワークと沿岸域における生態系管理の今後の展開を議論することを目的とし、水域の環境管理に関する専門家である Kateryna M. Wowk 博士（アメリカ海洋大気庁（NOAA））および国内の専門家をご招待して、国際シンポジウムを開催します。自然環境管理では生物多様性の保全、防災・減災、気候変動対応など多面的な対策が必要となる中、グリーンインフラの概念と方法論を議論することで、より良い自然環境管理を議論する機会としたいと考えています。

■日 時:平成 27 年 9 月 13 日(日) 13:00～17:00

■場 所:東京工業大学くらまえホール（東京都目黒区大岡山 2-12-1）

最寄駅「大岡山」駅（東急目黒線、東急大井町線）より徒歩 1 分

■参加費: 500 円（資料代）※当日、受付で徴収します。

懇親会費(参加者のみ):一般 5000 円、学生 1000 円

■プログラム:(逐次通訳あり)

◇第一部 グリーンインフラの概念とは

基調講演 岩浅有記 国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土管理企画室 専門調査官

特別講演 Kateryna M. Wowk (アメリカ海洋大気庁 (NOAA) 社会科学専門官)

◇第二部 グリーンインフラの方法論 (事例紹介)

講演 中村太士 北海道大学大学院農学研究院 教授

講演 坂巻隆史 東北大学災害科学国際研究所 准教授

◇第三部 応用生態工学におけるグリーンインフラの展開

パネルディスカッション

※終了後、懇親会あり (17:30～19:30、含 学生のポスター発表)。

会場:東京工業大学大岡山キャンパス内 (予定)



■申込方法

氏名、所属、連絡先、懇親会参加の有無について、E-mail または Fax で下記までお申込みください。

応用生態工学会東京事務局 担当: 久保市

E-mail : iec_symposium@ecesj.com

Fax : 029-851-6552

(TEL:029-851-6958 (応用地質株式会社内))

主催 応用生態工学会 国際交流委員会

共催 応用生態工学会東京 / 後援 建設コンサルタンツ協会関東支部 (予定)

※ (一社) 建設コンサルタンツ協会の継続教育 (CPD) プログラムとして認定されています (4 単位)。(予定)